

1. VU-NETとIKアンプの同期方法

- ① VU-NETを起動し、左上メニューからFile>Newで新規プロジェクトファイルを作成します。(図1-1)
- ② 適宜プロジェクト名を編集し、右下のFinishボタンを押します。(図1-2)
- ③ 左上のDISCOVER DEVICESのアイコンを押します。(図1-3)
- ④ オンライン上のIK42が表示されますのでRunWizardを押します。(図1-4)

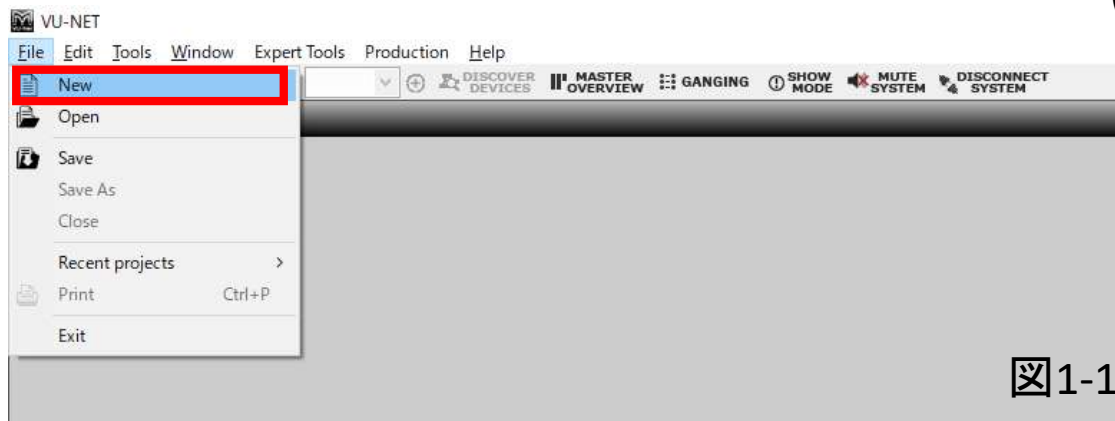


図1-1

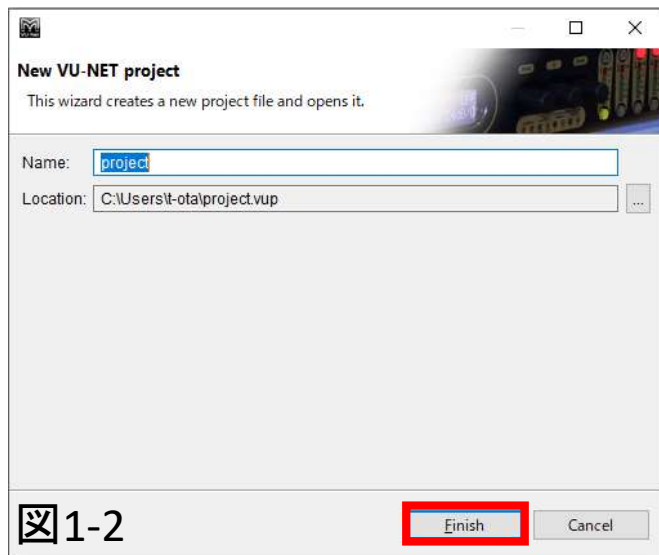


図1-2

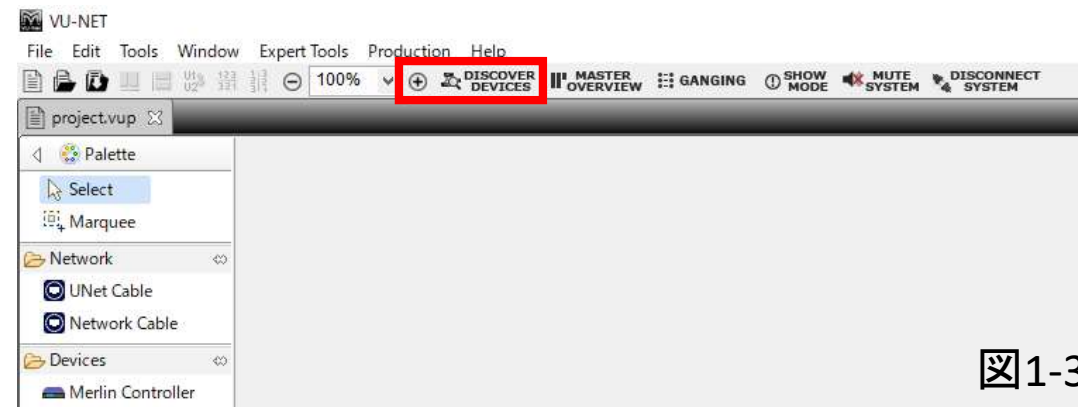


図1-3

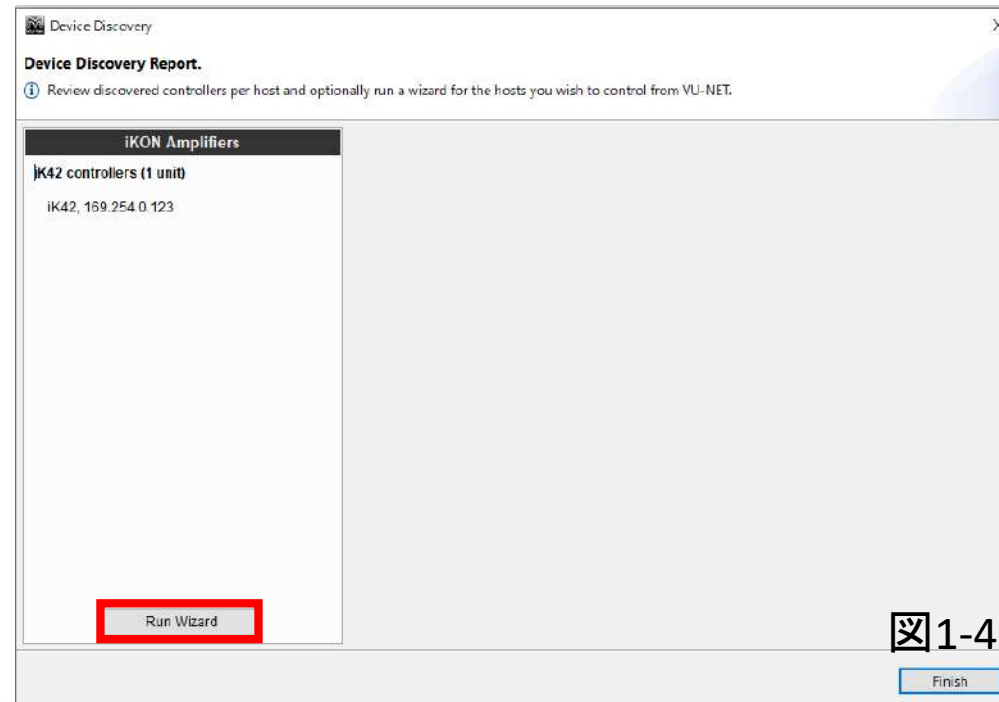
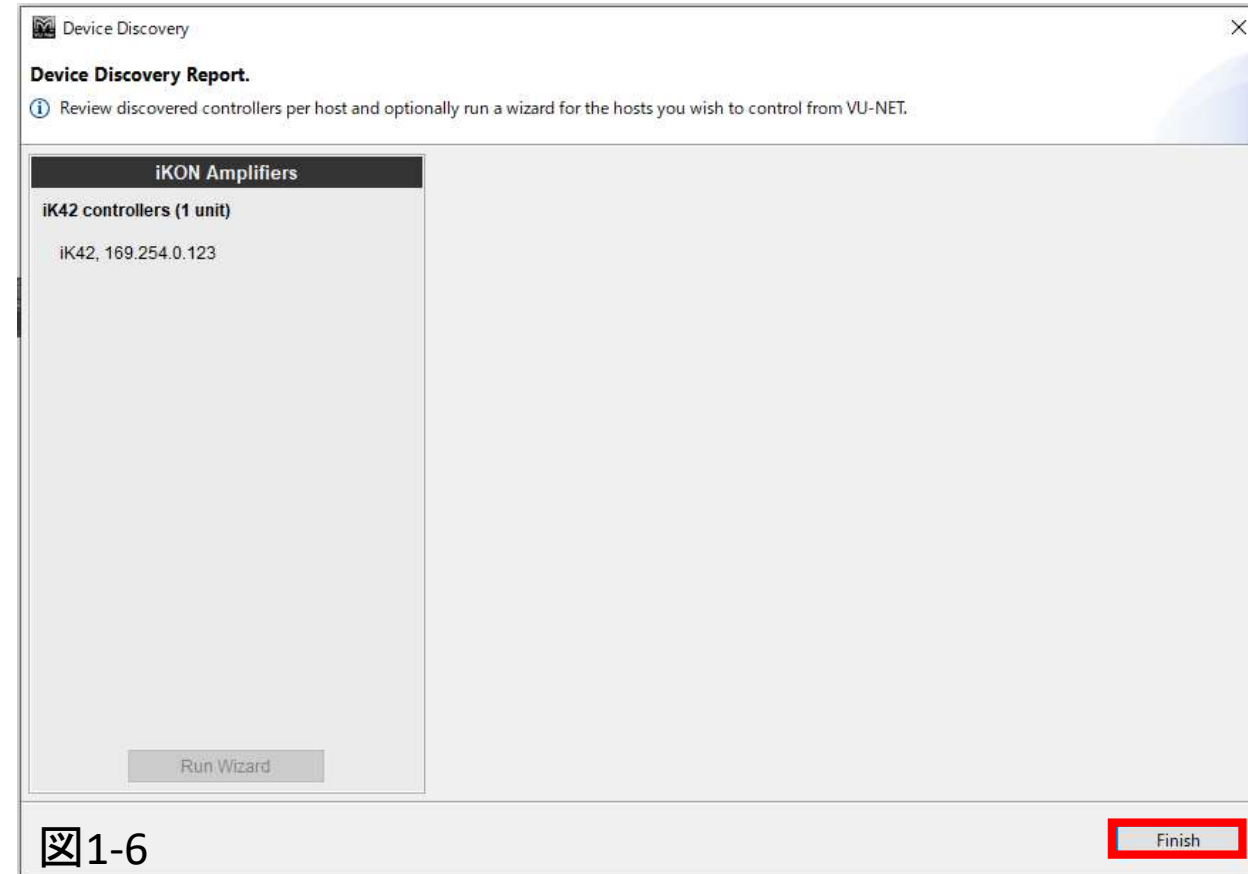


図1-4

- ⑤ オンライン上のiK42全てとVU-NETの同期が開始されます。
Resultが全てOKとなれば同期完了です。右下のFinishを押してください(図1-5)
- ⑥ 右下のFinishを押してDeviceDiscoverを終了します。(図1-6)



2. IKアンプのパラメータ値の設定変更方法

① 任意のアンプアイコンの上で右クリック>Openを押します。(図2-1)

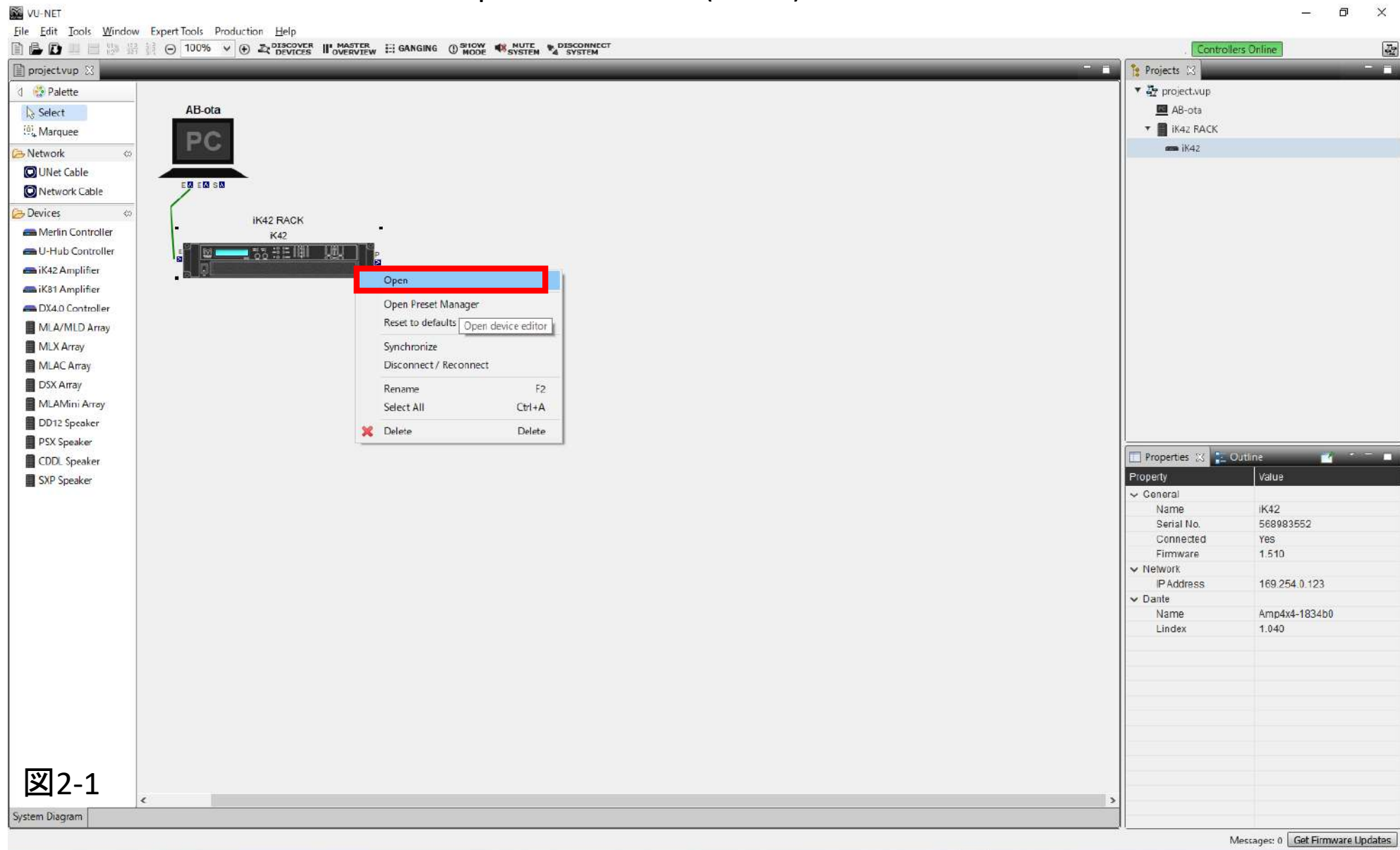


図2-1

- ② 図2-2のような画面が開き、アンプ内部の設定を変更できます。
左下のタブメニューから様々なパラメータを変更することができます。

The screenshot displays the AUDIO BRAINS control interface. The main area features eight vertical level meters arranged in two groups of four. The first group, labeled DSP A, DSP B, DSP C, and DSP D, has a scale from -40 to 20 dBu. The second group, labeled OUTPUT 1, OUTPUT 2, OUTPUT 3, and OUTPUT 4, has a scale from -40 to 20 dBu. Below each DSP meter is a 'MUTE' button and a gain control knob set to 0.00. Below each output meter is a 'MUTE' button and a gain control knob set to 0.00. At the bottom of the interface is a tab menu with the following tabs: Gain/Mute/Limiters, Routing, DSP ABCD, Output Channels, Delay, Monitoring, and Power. The 'Gain/Mute/Limiters' tab is currently selected. On the left side of the image, five red arrows point from Japanese labels to the corresponding tabs in the menu:

- Delay値 設定タブ (Delay value setting tab) points to the 'Delay' tab.
- Output EQ設定タブ (Output EQ setting tab) points to the 'Output Channels' tab.
- Input EQ設定タブ (Input EQ setting tab) points to the 'DSP ABCD' tab.
- ルーティング設定タブ (Routing setting tab) points to the 'Routing' tab.
- ゲイン/ミュート/リミッター設定タブ (Gain/Mute/Limiter setting tab) points to the 'Gain/Mute/Limiters' tab.

At the bottom right of the interface, there is a 'Messages: 0' indicator and a 'Get Firmware Updates' button.

図2-2

2章にて変更したアンプの各種パラメータは、IKアンプのsnapshotという機能を使用することで、アンプ内部のメモリへ保存、外部のPCへファイルエクスポート、エクスポートしたファイルを別のアンプへインポートして使用することができます。以下にその手順を記述します。

3. IKアンプのsnapshot保存 (アンプ本体メモリへのデータ保存)

①任意のアンプアイコン上で
右クリック>OpenPresetManager
を選択します。(図3-1)

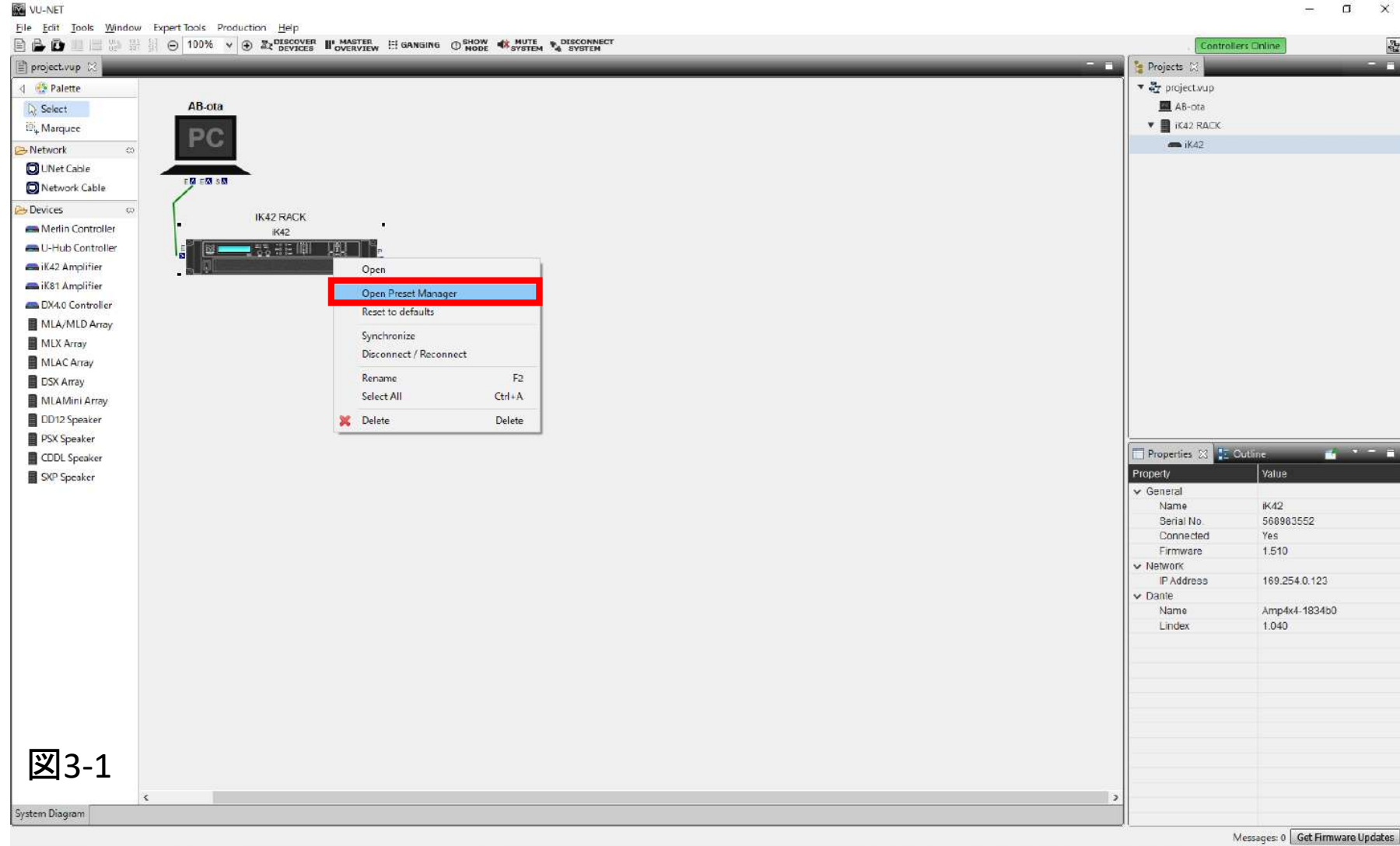
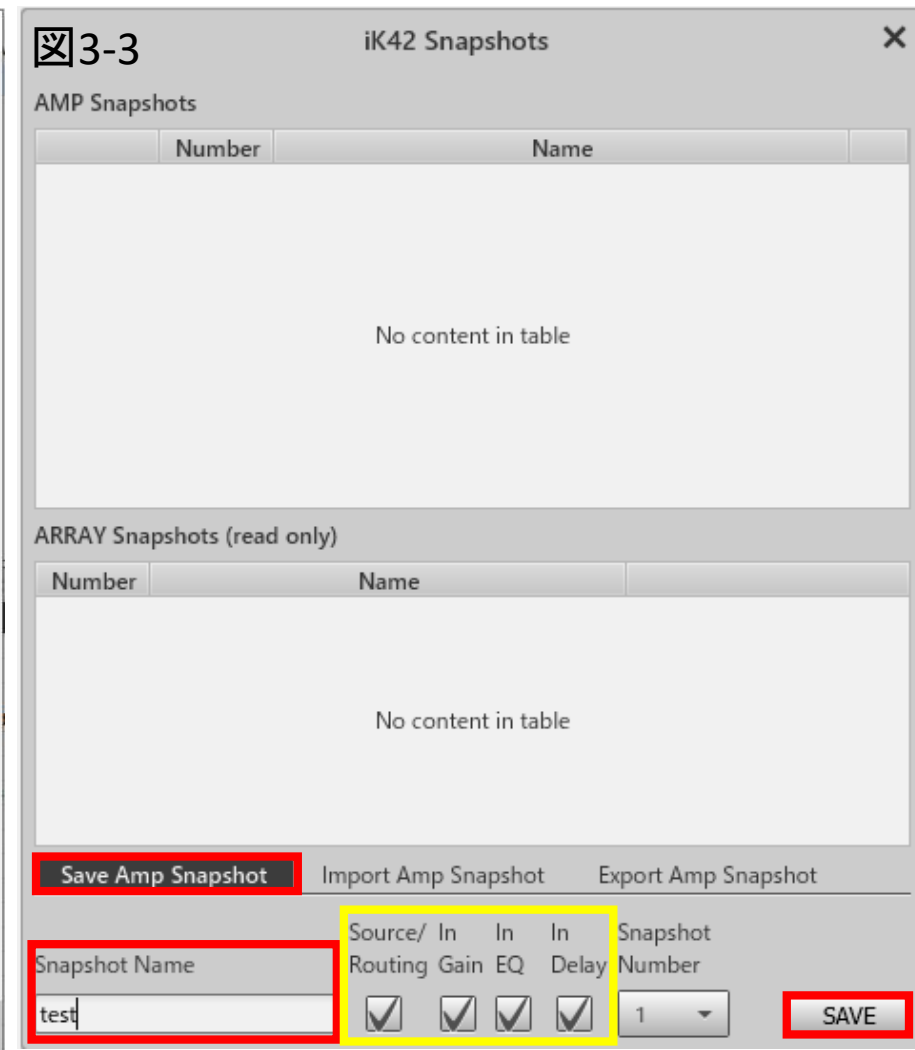
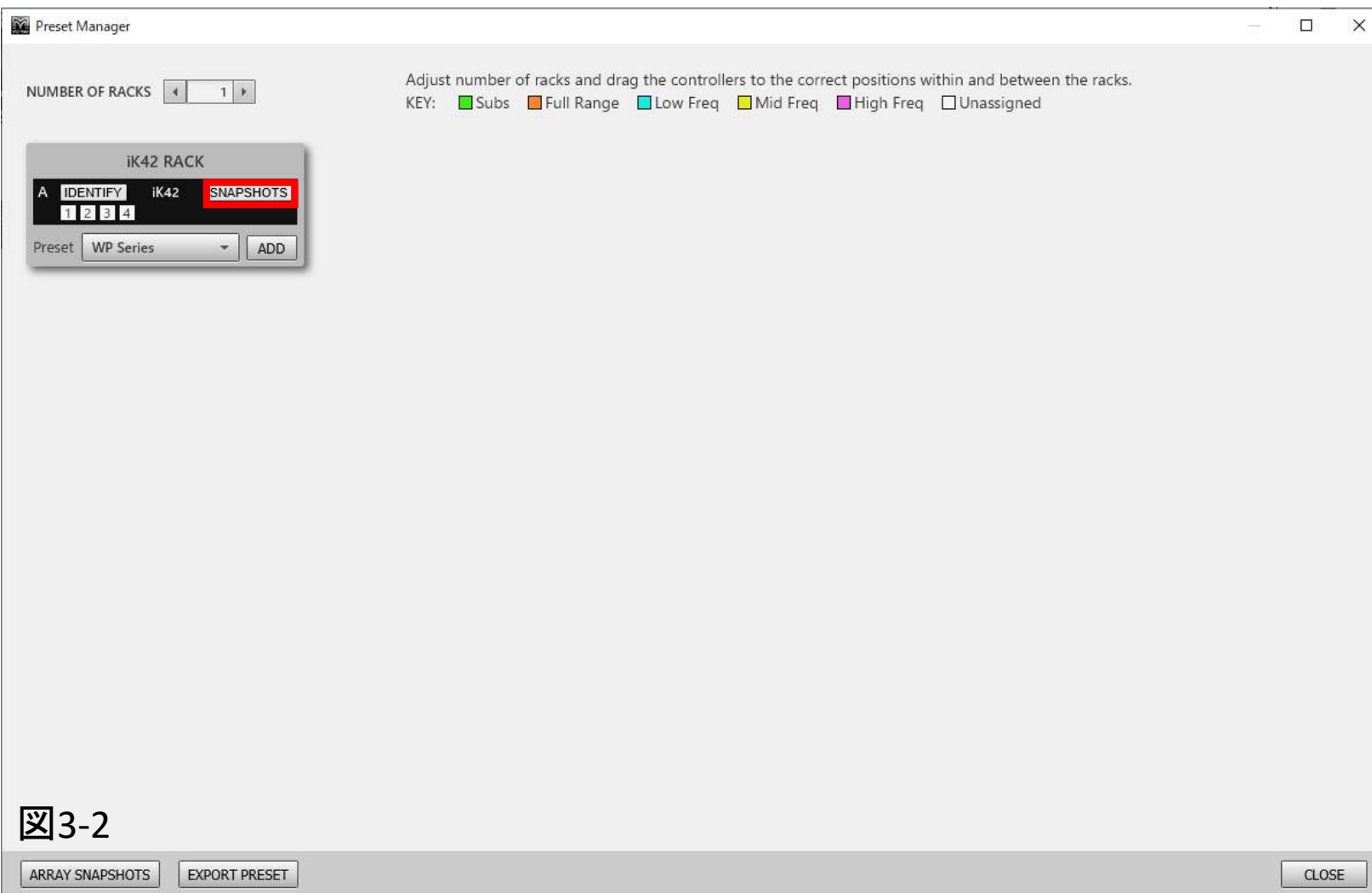


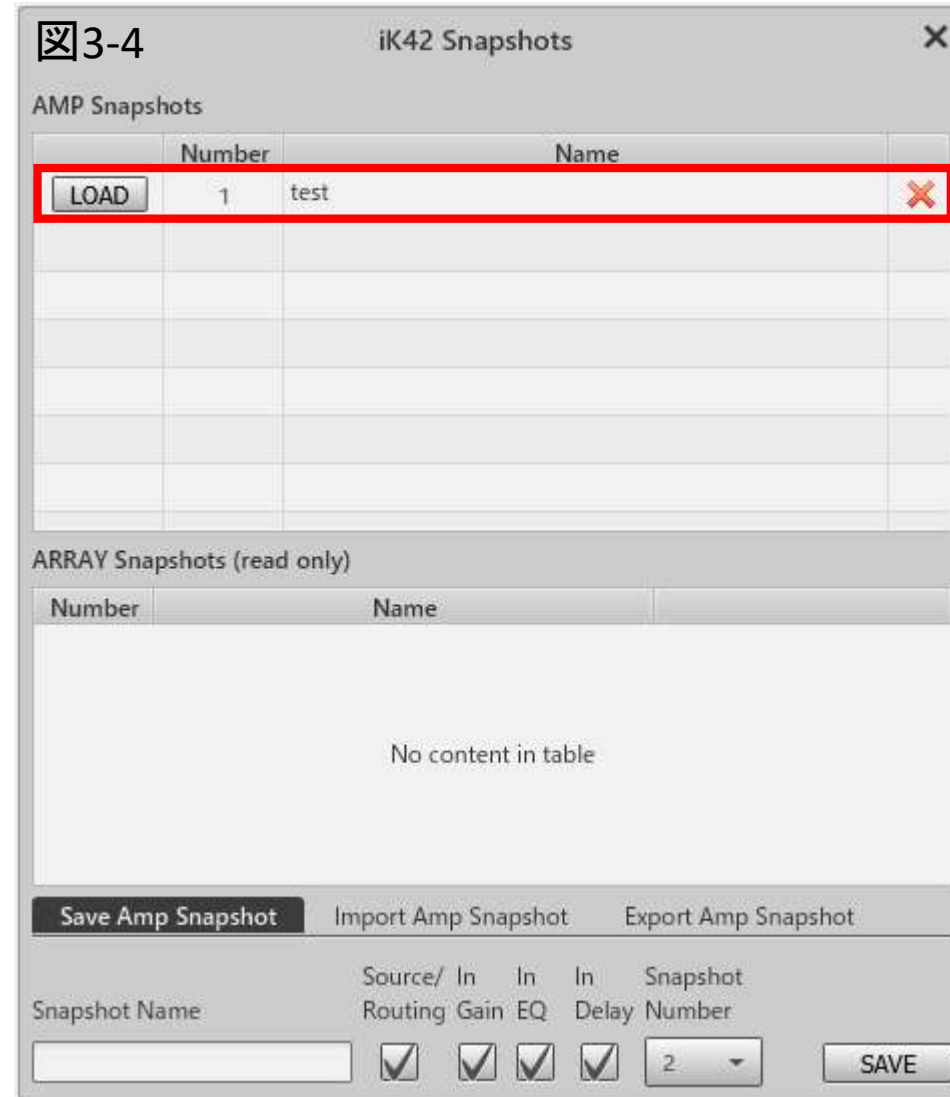
図3-1

- ② 任意のアンプアイコン上にあるSNAPSHOTSボタンを押します。(図3-2)
- ③ 左下のSaveAmpSnapshotタブが選択されていることを確認し、SnapshotNameに任意の名前を入力、黄色枠の全てのチェックボックスにチェックがついていることを確認して、右下のSAVEを選択します。(図3-3)



- ④ 手順②を再度行い、図3-4のようにAMP Snapshotsにデータが追加されていることを確認します。

このようにアンプのメモリ内に保存したスナップショットデータは、LOADボタンを押すことで、いつでも設定を呼び出すことができます。



4. IKアンプのsnapshotエクスポート(アンプデータの外部書き出し)

①任意のアンプアイコン上で
右クリック>OpenPresetManager
を選択します。(図3-1)

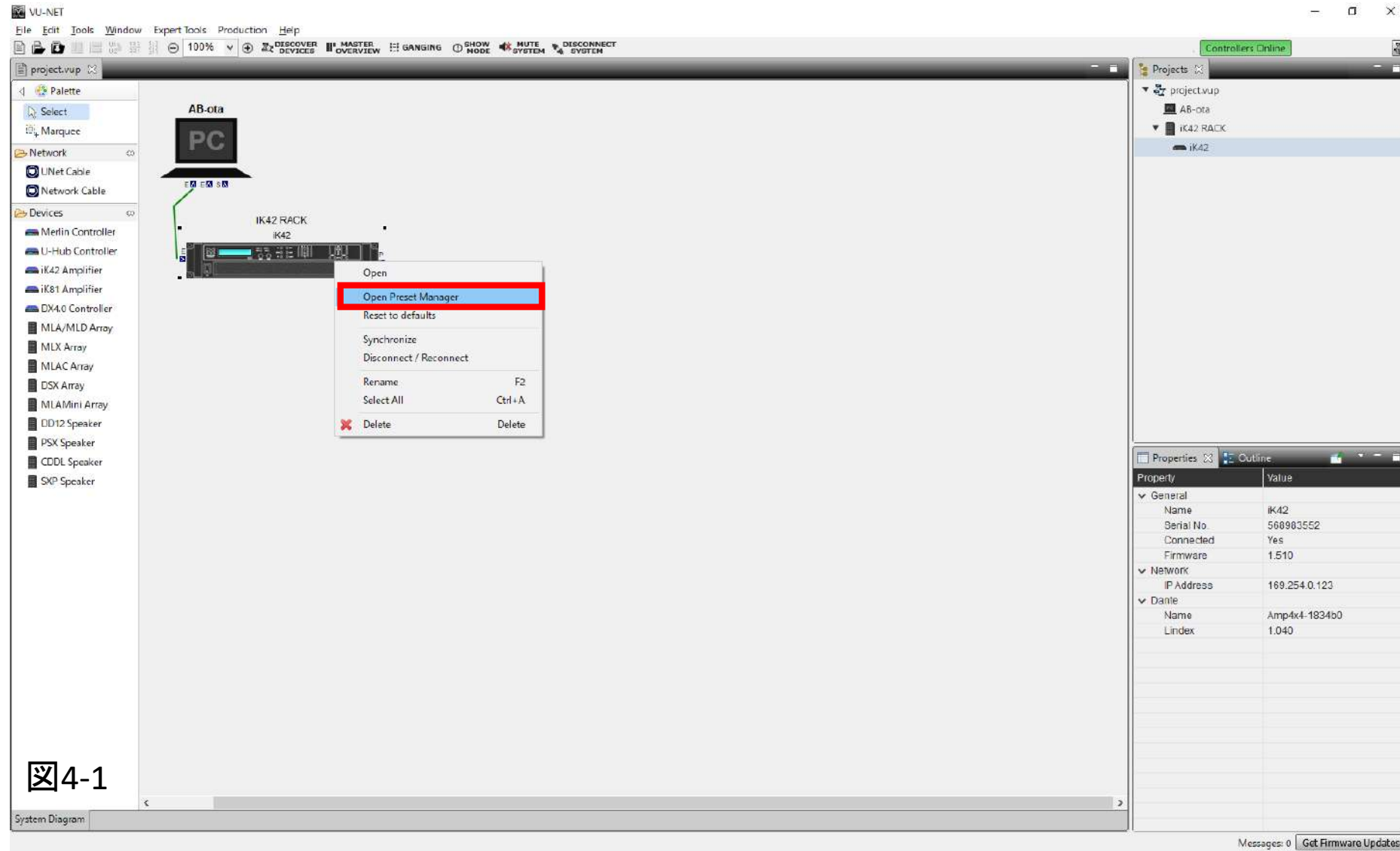


図4-1

- ② 任意のアンプアイコン上にあるSNAPSHOTSボタンを押します。(図4-2)
- ③ 右下のExportAmpSnapshotタブが選択されていることを確認し、3章にて保存したスナップショットデータのうちエクスポートしたいデータをLocationで選択します。SaveAsを押してPC上のどこにファイルをエクスポートするか設定し、右下のEXPORTボタンを選択します(図4-3)
- ④ 指定した場所にファイルが作成されているか確認します。ファイルの拡張子は.iksです。

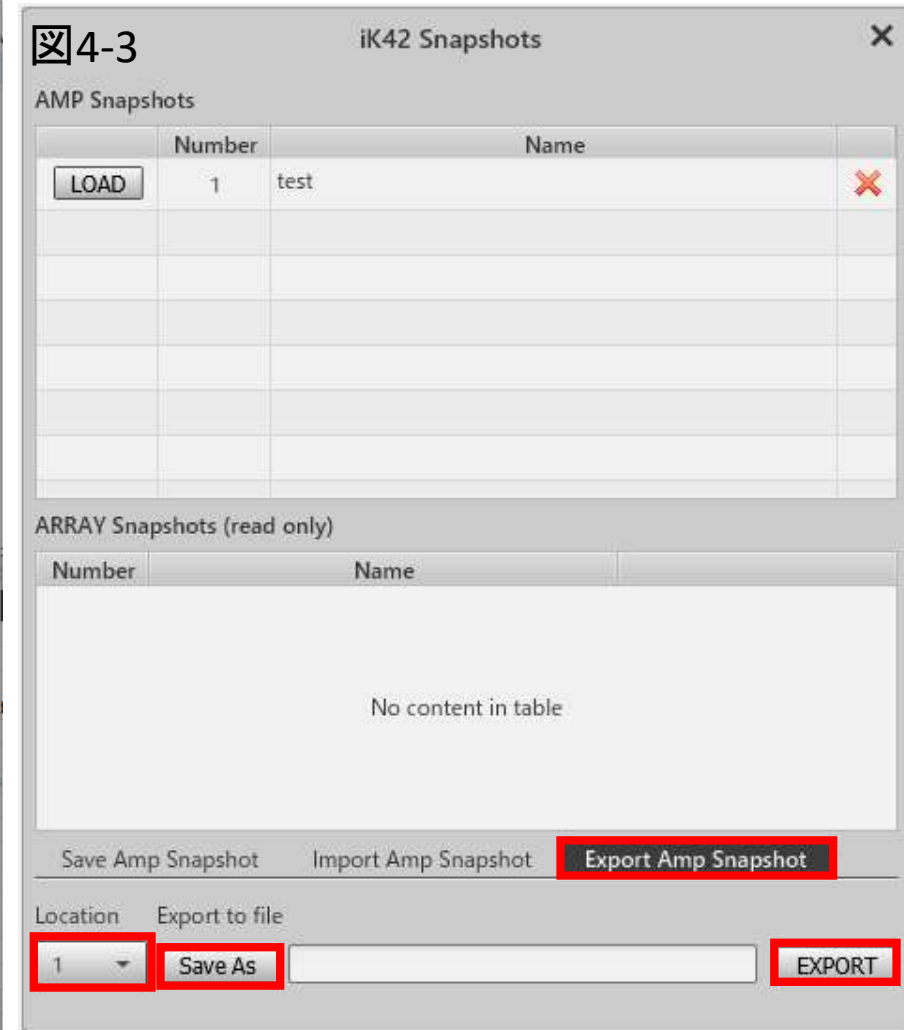
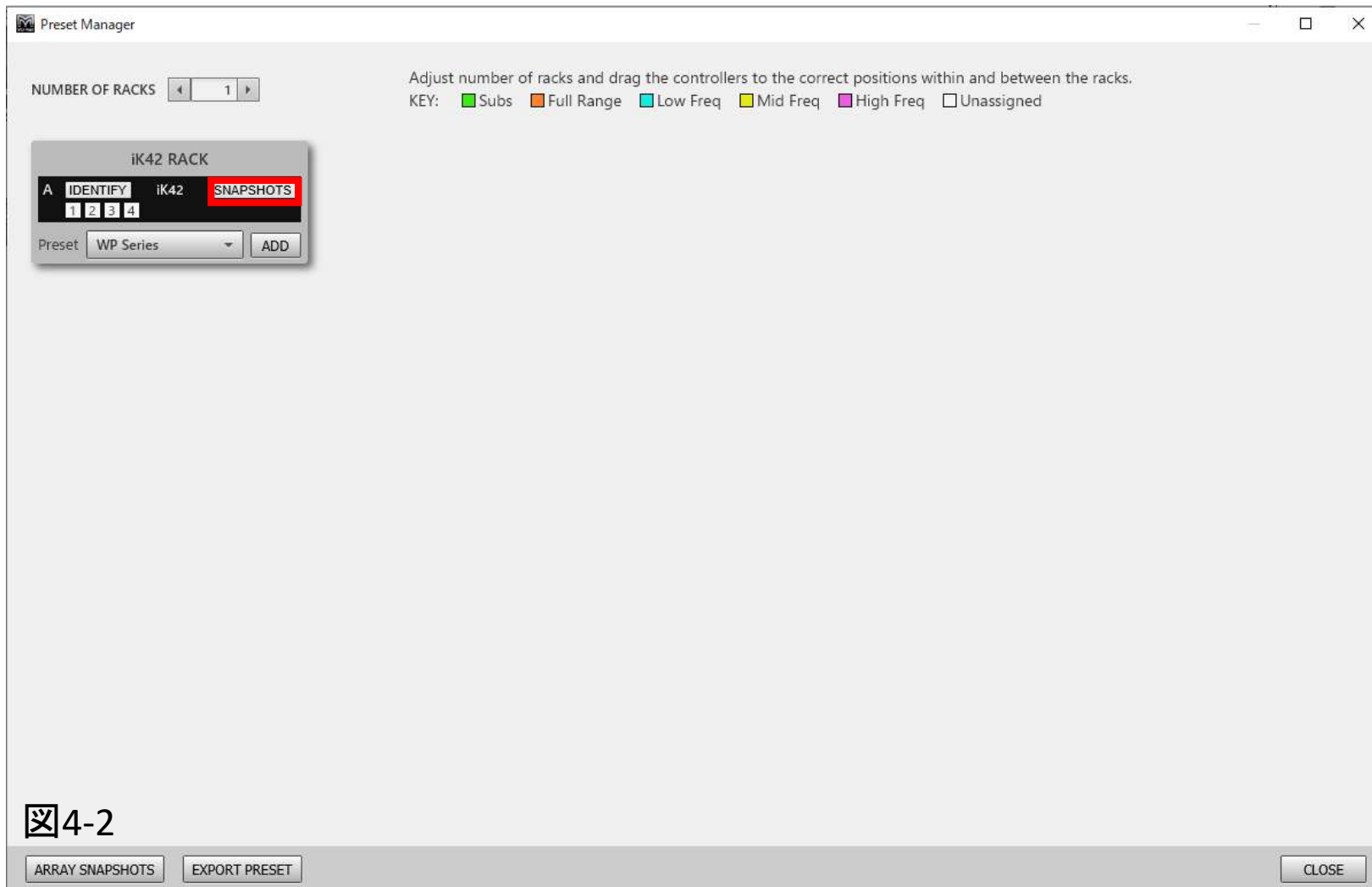
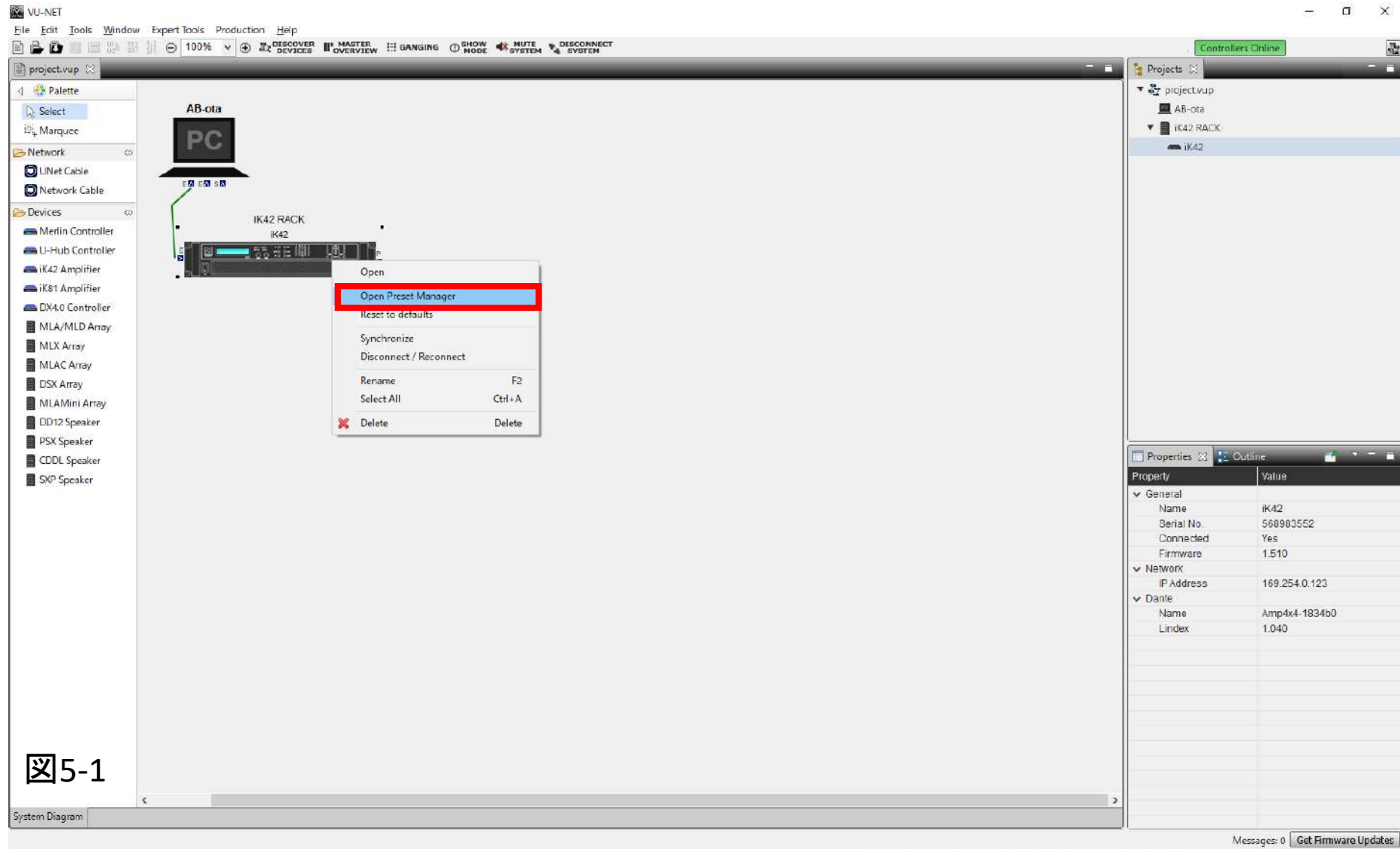


図4-2

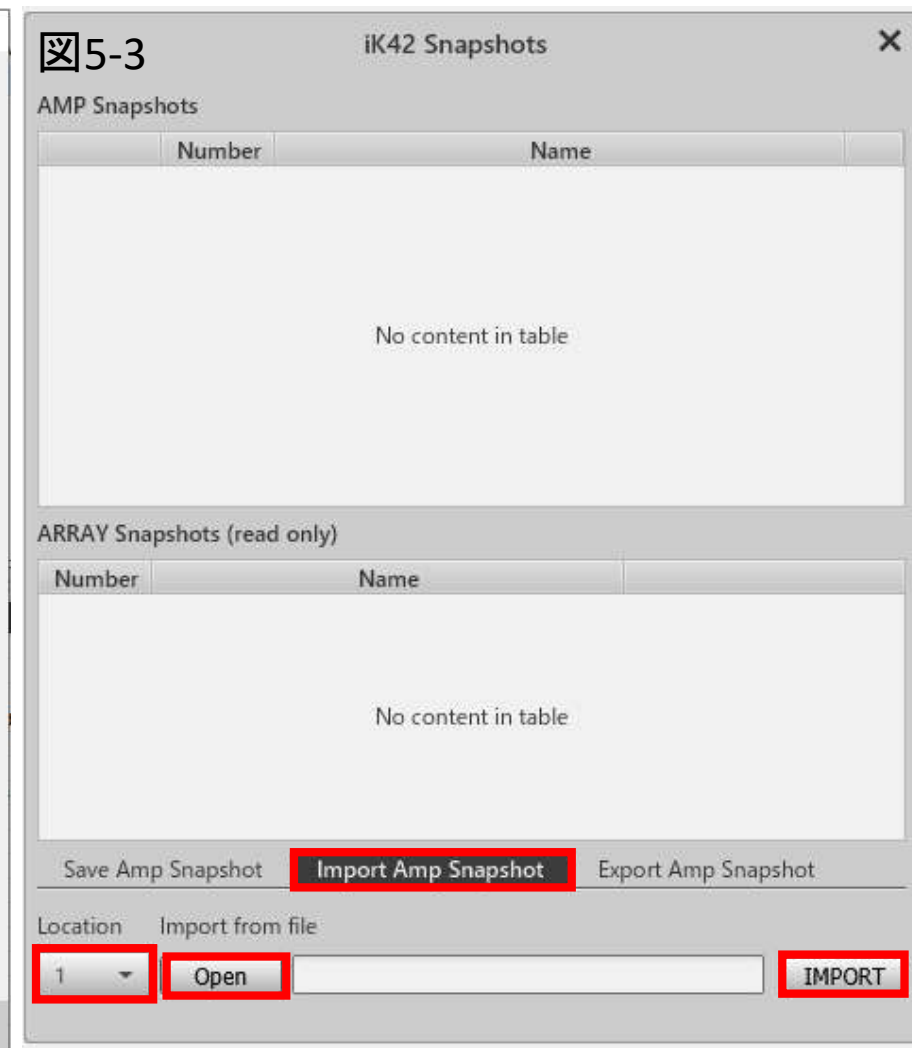
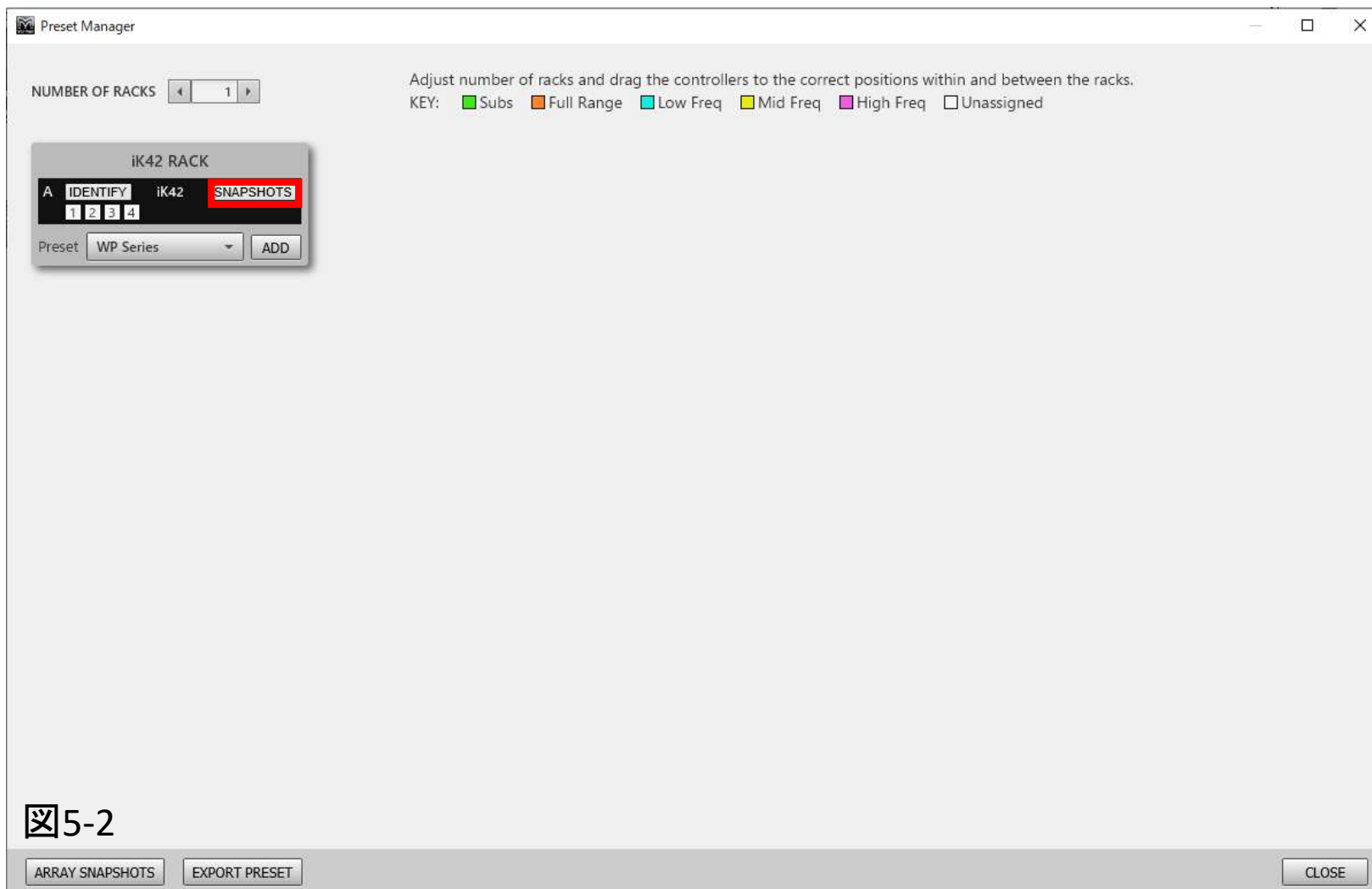
図4-3

5. IKアンプのsnapshotインポート(外部ファイルデータをアンプへ読み込む)

①任意のアンプアイコン上で
右クリック>OpenPresetManager
を選択します。(図5-1)



- ② 任意のアンプアイコン上にあるSNAPSHOTSボタンを押します。(図5-2)
- ③ 下部のImportAmpSnapshotタブが選択されていることを確認し、4章にてエクスポートしたスナップショットデータをAmpSnapshotの何番目にインポートしたいかをLocationで選択します。Openを押してインポートしたスナップショットファイルを選択し、IMPORTボタンでインポートします。(図5-3)



④ 手順②を再度行い、図5-4のようにAMP Snapshotsにデータが追加されていることを確認します。

IKアンプのsnapshot機能については以上になります。snapshotのデータはアンプ内部に20パターン分保存ができます。

これを利用することで、

- ・複数のパターンの即時呼び出し
- ・あらかじめ作成/エクスポートしたスナップショットデータを他のアンプへ複製することなどアイデア次第で様々な活用ができます。

